

H 7_ 第6次都市公園等整備5箇年計画における戦略プロジェクトに関する検討（震災関連アンケート調査）

調査項目	第6次都市公園等整備5箇年計画における戦略プロジェクトに関する検討（震災関連アンケート調査）
調査年次	平成7年度（2次調査） 章番号〔 〕
目的	地震被害の著しかった地域を対象に市民を無作為にサンプリングし「地震後の意識」「行動形態」「避難ニーズ」「問題点」等を探り、今後の緑を中心とした都市防災計画等に反映する。
概要	マクロ調査として震災時の避難動向の概略のアンケート調査と、震災時のより具体的な避難行動を把握する面接調査を行った。
結果	<p>マクロ調査のまとめ</p> <p>〔全体回収数（2664 回収率 44.4%）：東灘区（855）、灘区（407）、中央区（105）、兵庫区（169）、長田区（228）、須磨区（173）、西宮市（405）、芦屋市（322）〕</p> <p>公園への避難者 「一時避難者」「避難生活者」の2型が見られ、被災当日の公園への一時避難者は20.3%。仮設住宅入居までの避難行動で区分すると、公園への「一時避難者」16.3%、「避難生活者」7.8%、「公園外への避難者」75.8%。</p> <p>「一時避難者」が公園を選択した理由 第1要因「自宅との近接性」、第2要因「建物が無い」（各戸と公園の近接性に効果が期待され、空間配置計画における一時避難の位置づけの重要性）</p> <p>「避難生活者」が公園を選択した理由 第1要因「自宅との近接性」、その他「私的生活の確保」（「中・長期におよぶ生活確立する」ことが必要）</p> <p>公園以外の避難者に「近くに公園がない」という指摘がみられ、これらは公園配置密度の問題であり、各戸との近接性に留意した配置密度の検討が課題。</p> <p>「避難生活者」は「一時避難者」に比べて震災以前の公園の利用率が高く、「一時避難者」においても日常的利用者は公園の選択理由が明解で、公園の認知度が高い傾向がみられる。これらは震災以前の公園利用と避難理由選択の相関を示唆しているといえる。</p> <p>詳細調査のまとめ（対象：浜田公園）</p> <p>〔サンプル：ポートアイランド第6・第7住宅のうち面接できた473〕</p> <p>震災直後、浜田公園は一時避難地となるとともに、震災以前から自治活動を行っていた人々を中心に、きわめて早く避難地としての形態を確立する。浜田公園自治会が組織され、避難地の運営は組織的に行われる。その後徐々に撤退に向けての努力がなされ、比較的早期に撤収され、公園は避難地としての役割を終え本来の機能を回復させている。</p> <p>避難地の選択には、「公園に行けば誰かがいると思った」と多くの避難者が述べているが、こうした意識や住民間のつながりは震災以前の自治活動が公園を早期に避難地として確立したと言える。また日常的利用は公園利用の密度を高め、公園への意識を育んだものと考えられる。</p>
課題	
調査結果の反映等	

調査項目 第6次都市公園等整備5箇年計画における戦略プロジェクトに関する検討(震災関連アンケート調査)

調査年次 平成7年度(2次調査) 章番号〔 〕

キーワード

利用実態、震災、避難、アンケート、面接調査

事例公園等

神戸市

〔東灘区〕川井公園、石屋川公園

〔灘区〕寿公園、都賀川公園、大和公園、稗田公園、浜田公園

〔中央区〕宮本公園、生田川公園

〔兵庫区〕湊川公園、門口公園

〔長田区〕水笠公園、大国公園

〔須磨区〕妙法寺川公園、下中島公園

〔西宮市〕夙川公園、御代開公園、春風公園

〔芦屋市〕津知公園、芦屋中央公園、宮塚公園

H6_第1部 阪神・淡路大震災にかかる都市公園緊急利用実態調査

調査項目	阪神・淡路大震災にかかる都市公園緊急利用実態調査
調査年次	平成6年度 章番号〔第1部〕
目的	大都市における震災被害に対応する都市公園のあり方を探る。(第1段階として特に緊急に調査し把握すべき「災害時の都市公園の果たしている役割」を実態的に調査する)
概要	地震発生後、時間の経過とともに変わる都市公園の利用実態を極力把握するため、災害直後の利用状況、被災1週間後の利用状況、被災3週間後の利用状況等の把握を行った。
結果	<p>〔対象公園〕神戸市規制市街地6区(六甲山系より南)389公園、芦屋市51公園、西宮市25公園 合計494公園</p> <p>都市公園の果たしている役割</p> <p>避難地としての役割</p> <p>被災1日後、神戸市・西宮市・芦屋市の105公園が避難所として利用</p> <p>被災1週間後神戸市では調査対象の26%にあたる94公園が避難場所となり1098張りのテントがあり、この時点で公園から学校等に移動した「避難跡公園」も23箇所。西宮市芦屋市では被災2週間後に7公園で避難利用が見られた。</p> <p>被災3週間後、一部の公園では避難利用は見られなくなったもののテント数は増加しており、公園での避難生活は長期継続の様相を呈する。</p> <p>救援活動の場としての役割</p> <p>救援物資の保管・配給、救護本部・情報センター、仮設トイレ・給水所、緊急車両・救急医療・ヘリポート</p> <p>復旧、復興拠点としての役割</p> <p>自衛隊駐屯地、復旧資材置き場、瓦礫や生活ごみ集積場、仮設住宅建設地</p> <p>震災ごみや自動車等置き場としての役割</p> <p>他に置き場がなくやむを得ず公園内に持ち込まれたと見られる家電等のゴミ類は被災3週間後の調査時点ではかなり片付けられた。</p> <p>公園内への自動車の乗り入れは、被災翌日でも相当数あり、寝泊りの場としての利用も見られた。。</p> <p>被災1~3週間後の調査時点では、車両置き場としての利用が見られた。</p> <p>火災の焼け止まり線としての役割</p> <p>長田区の菅原通公園、西代通公園、大黒公園、須磨区の戎町公園が焼け止まり線。</p> <p>利用実態調査結果からみた防災系統の都市公園の問題点・課題</p> <p>防災機能を有する都市公園の系統的整備、身近な防災公園の整備、防災の観点からの公園施設の拡充等、防災機能を有する都市緑化の推進</p> <p>国への要望((都市公園緑地事業の推進に関する要望書 新しい防災公園に関する取り組みの要望)</p> <p>阪神・淡路大震災における都市公園の利用状況を踏まえて、大都市の直下型地震に効果のある新しい防災公園のあり方、ならびに整備推進方策についての検討を行われたい。</p>
課題	上記課題への対応
調査結果の反映等	平成7年度調査()で避難動向のマクロ調査、具体的な避難行動の詳細調査を実施。

調査項目	阪神・淡路大震災にかかる都市公園緊急利用実態調査
調査年次	平成6年度 章番号〔第1部〕
キーワード	利用実態、防災公園、震災時の利用
事例公園等	<p>神戸市</p> <p>〔長田区〕菅原通公園、駒が林公園、西代通公園、大黒公園、水笠西公園、新長田公園、常盤公園、 大国公園、若松公園、御蔵公園、駒栄南公園</p> <p>〔東灘区〕中野南公園、本山交通公園、本庄中央公園、本庄中町公園、宝島公園</p> <p>〔中央区〕磯上公園、東遊園地、宮本公園、神若公園、生田川公園</p> <p>〔兵庫区〕門口公園、本町公園、本町公園、湊町公園</p> <p>〔須磨区〕下中島公園、戎町公園</p> <p>〔灘区〕烏帽子公園、西郷公園、東町公園、求女塚西公園、新在家公園、南町公園、大和公園、稗 田公園、西灘公園</p> <p>芦屋市 芦屋中央公園、津知公園</p> <p>西宮市 豊楽公園</p>

自主研究報告

東日本大震災実態調査速報

1.はじめに

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地でご尽力されている各団体、個人の皆様に深く敬意を表します。

当協会では平成23年度の自主研究として、地震発生時からこれまで仙台市を中心に公園の被災状況及び震災による利活用の情報収集に努めてまいりました。また、4月21日～23日の3日間、宮城県沿岸部の公園緑地等の津波被害の実態を把握するため、概査を行いました。

この度はこれまでの情報収集と調査の結果を震災実態調査速報としてご報告いたします。

2.都市公園被害の概要

(1) 主な被災地の都市公園数

今回の地震と津波により甚大な被害を受けた沿岸に位置する自治体は東北三県（岩手、宮城、福島）だけで30市町村にのぼり、都市公園の数は県営公園を含めて2,777箇所ある。（平成21年度末都市公園等整備現況調査結果）

市街地の大部分が浸水した石巻市では全公園81箇所のうち60箇所が浸水エリア内に位置している。また、仙台市でも34箇所が沿岸部の浸水エリア内に位置している。

仙台市では市の管理する1,603公園。被害は588箇所におよびその被害総額は78億円になると試算している。仙台市の調査では、被害は沿岸部に限らず、内陸部でも液状化、土砂崩れ等が発生していることが確認されている。特に4月7日の余震（震度6強）で内陸部

の開発団地の隣縁部に被害が多くでている。

被災地の全公園が被害を受けたとは限らないが、都市公園においても震災の被害は広範囲で相当数に及んでいる。

表-1 被災地の都市公園箇所数

都道府県名	市区町村名	箇所
岩手県	富古市	32
	大船渡市	36
	久慈市	9
	陸前高田市	11
	釜石市	41
	上閉伊郡大槌町	18
	下閉伊郡山田町	8
	下閉伊郡田野畑村	1
	計	156
宮城県	仙台市	1604
	そのうち県営	(1)
	石巻市	81
	塩竈市	38
	そのうち県営	(1)
	気仙沼市	31
	名取市	137
	多賀城市	163
	そのうち県営	(2)
	岩沼市	87
	そのうち県営	(1)
	東松島市	33
	そのうち県営	(2)
	亶理郡亶理町	14
	亶理郡山元町	1
	宮城郡松島町	4
	そのうち県営	(1)
宮城郡七ヶ浜町	42	
そのうち県営	(2)	
宮城郡利府町	70	
そのうち県営	(3)	
牡鹿郡女川町	1	
本吉郡南三陸町	5	
	計	2311
福島県	いわき市	246
	そのうち県営	(1)
	相馬市	16
	南相馬市	37
	そのうち県営	(1)
	双葉郡富岡町	5
	双葉郡双葉町	3
双葉郡浪江町	2	
相馬郡新地町	1	
	計	310
	合計	2777

3. 公園利活用調査

(1) 調査の目的

市街地における公園緑地等の震災関連の利用実態の把握し、諸課題を明らかにすることを目的とする。

(2) 調査方法

現地スタッフによる仙台市内の踏査と仙台市への聞き取り、自治体HPや新聞他のメディアの調査により情報を収集した。

(3) 調査対象

- ・新聞等の調査：仙台市を中心とした東北三県（岩手県、宮城県、福島県）
- ・現地踏査：仙台市

(4) これまでの調査結果

今回の速報では、地震発生時から時系列に情報を収集した仙台市の公園利活用状況を中心に報告する。

仙台市にある1,604公園（県営含む）のうち、75公園（県営含む）が防災公園として整備されている。防災公園として整備されている公園、地域防災計画に位置づけられている公園を中心に現地確認を行い、公園用地1箇所を含む47公園については現地にて状況を確認した。また、仙台市からの情報提供を合わせ、58公園の利用又は被災の情報を収集した。

調査した公園の内訳を表-2に示す。

表-2 調査公園の種別と地域防災計画の位置づけ

公園種別	調査数	地域防災計画に位置づけられている公園		地域防災計画に位置づけられていない公園	
		調査数	割合	調査数	割合
防災公園	75	75	100%	0	0%
公園	47	47	100%	0	0%
その他	482	0	0%	482	100%
合計	599	122	20.37%	477	79.63%

1) 防災施設と利用の有無

58公園のうち、29公園で震災に関する利用を確認した。調査した37箇所の防災公園のうち、5公園で備蓄倉庫や耐震性貯水槽などの緊急防災施設は整備されていたが今回の震災ではこれら施設の利用は、現在のところ確認できない。また、地域防災拠点の海岸公園はほとんどの施設が津波により壊滅的被害を受けた。

2) 給水所、炊き出し等

これまでの調査で給水所を設けられたのは20公園、炊き出しは1公園だった。

調査を開始した3月15日には4公園で臨時給水所が設けられていた。多い時は16公園で給水所が設けられていたが、3月27日にはほとんどの地区で上水が復旧し、4月1日には公園の給水所はなくなった。7日に起きた余震で、9日に1箇所給水所が設けられたが、1日だけだった。

大半は公園の隣接道路に給水車が駐車して臨時給水所を設けており、公園は目印として用いられ、園内の利用はない。（写真-1）

台原森林公園は耐震貯水槽に繋がる水道管が被害を免れたため、3月15日から22日まで、園内の消火栓から直接給水を行うことができた。（写真-2）



写真-1 錦ヶ丘八丁目東公園 臨時給水所（写真は東京都の給水車。他にも愛媛県、山口県など全国の給水車が活動）



写真-2 台原森林公園 臨時給水所



写真-3 海岸公園 蒲生地区野球場（冷蔵庫とブラウン管TVを集積している場所）

3) 仮ゴミ置き場・被災車両保管場所

3月15日には近隣公園3箇所が震災で発生したガレキを集積する仮ゴミ置き場として利用され始めた。18日に近隣、地区公園の2箇所追加され、市内5つの区に各1公園が仮ゴミ置き場として指定された。

宮城野区で指定された12.1haの鶴ヶ谷中央公園（地区）は、4日間で満杯のため閉鎖され、新たに2.9haの日の出町公園（近隣）が利用されている。

持ち込まれたガレキは可燃と不燃に分別され、日の出町公園では市職員の指示のもと電気製品、スチール、コンクリートガラ、ガラス類、ソファ類、その他可燃など細かく分別していた。

市内の仮ゴミ置き場で分別、集積されたガレキはその後沿岸の海岸公園に運搬される。4月21日時点では蒲生地区の海岸公園で集積が進んでいた。（写真-3）

仙台市では海岸公園と周辺の防潮林におよそ100haの敷地を確保し、3つの地区にそれぞれ焼却炉を建設して処理することを計画している。木材を含め、資源として利用できるガレキはできる限り活用したいとしている。

また、ガレキの他にも所有者の引取りが難しい車輛については自治体が一時的に保管している。仙台市は、蒲生地区の海岸公園テニスコートを4月20日から被災車輛保管場所として利用している。（写真-4）



写真-4 海岸公園 蒲生地区テニスコート（被災車輛保管場所）

4) 仮設住宅用地

候補には挙げられているが仮設住宅を建設した公園はまだない。被災者の「自宅近くの街区公園に作ってほしい」という要望から、今後は公園に建設することが予定されている。現在は榴岡公園（総合）が最も有力な候補地になっている。

5) 避難所、ボランティアセンターの設置

今回の震災が冬季だったこともあり、屋内施設の無い公園を避難所として利用されることは無かった。

仙台市の公園で利用があったのは七北田公園（総合）の体育館だけだった。この体育館には3月27日からボランティアセンターも設置されている。

6) その他の利用

仙台市では近くの自衛隊基地の利用が可能になったため、想定していた臨時ヘリポートなどの利用はなかった。

市役所前の勾当台公園（近隣）は支援車輛の駐車場として、津波被害が甚大であった沿岸部近くに位置する扇町四丁目公園（近隣）は自衛隊の重機置き場として利用された。

仙台市以外の都市では、自衛隊などの支援拠点地として公園が利用されている。

石巻市では、石巻市総合運動公園、涌谷スタジアムの2箇所での利用を確認した。

拠点として利用されていた2つの場所は、どちらも幹線道路沿いであること、出入り口が広く大型車輛が通行できること、広い駐車場と広場が確保できることなどの利用されやすい条件がそろっていた。

調査時には野球スタジアムは利用されていなかった。出入りが広く、テントが固定可能なサッカーグラウンドなどの芝生広場が利用されていた。（写真-5,6）



写真-5 石巻市総合運動公園(サッカーグラウンド)



写真-6 涌谷スタジアム(パークゴルフ場)

4. 津波被害実態調査

(1) 調査の目的

公園緑地等の津波被害の状況や避難状況を確認し、沿岸部の緑地とオープンスペースの諸課題を明らかにすることを目的とする。

(2) 調査概要

1) 調査地

宮城県沿岸部(以下行程順)

仙台市、東松島市、石巻市、岩沼市、名取市

2) 調査期間

平成23年 4月21日(木) ~ 4月23日(土)

(3) 調査対象

調査対象である公園緑地及びオープンスペースは、国土地理院発表の浸水範囲と航空写真の地震発生前後比較、新聞等の情報により抽出した。

仙台市

- ・海岸公園（広域公園）

- 井土地区：冒険広場、馬術場

- 荒浜地区：センターハウス

- 蒲生地区：野球場、テニスコート

- ・東部道路（避難地等に機能した空間）

東松島市

- ・鶴岡橋周辺東名運河沿いの松林

- ・白髭神社・長音寺周辺

- ・野蒜海水浴場付近の防潮林

- ・矢本海浜緑地（広域公園）

石巻市

- ・日和山公園（近隣公園）

- ・長浜海浜公園周辺の松林

岩沼市

- ・岩沼海浜緑地（広域公園）

- 北ブロック

- 南ブロック

- ・二の倉緑地（街区公園）

名取市

- ・日和山公園（街区公園）

(4) 調査結果の概要

1) 微高地

今回調査した仙台市、名取市、岩沼市の仙台平野沿岸は水田地帯が多い。仙台平野は今回の津波で内陸部まで広域に浸水し、国土地理院の資料では名取市周辺で内陸6kmにまで達している。

情報収集から、東部道路や海岸公園の築山など、平野部の人工微高地に避難して助かった人達がいることが分かった。

仙台平野の沿岸部を中心に、浸水を免れた微高地がどのような場所か調査を行った。

仙台市 海岸公園（井土地区）冒険広場

< 浸水をまぬがれた公園区域：地域住民3名と公園管理者2名が高台に避難し、その後救助された。 >

- ・ 周辺の推定標高2.5m
- ・ 海岸（汀線）からの距離500m
- ・ 周辺地区の想定津波高9.54m
- ・ 微高地の標高約15.5m（110601修正）

（概況）緊急避難場所となった園内の築山は貞山堀側にある展望台のために造成されたもの。築山の一部に浸水跡があるが、波は敷地の両側を流れて築山と広場には被害がない。（写真-7）築山先端に当たった海水は広場の外周を囲む園路沿いに流れたと思われる。

周辺の防潮林と背後にある馬術場施設は壊滅的な被害。



写真-7 築山の浸水跡



空中写真-1 国土地理院撮影（CT0-2010-4-C02_0127）（一部加筆）

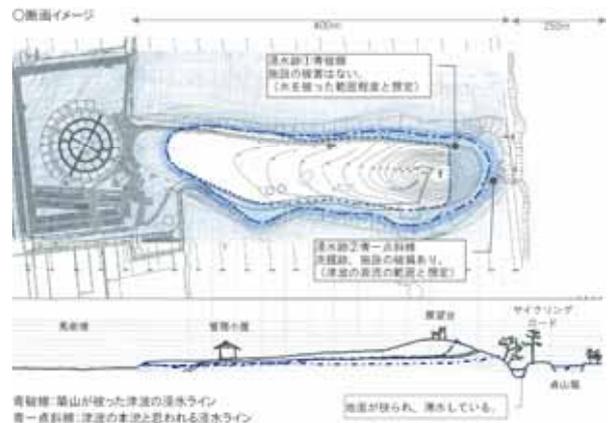


図-1 冒険広場の想定浸水ライン

仙台市 東部道路

< 緊急避難場所となった場所：東部道路の幾つかの場所で道路法面を登って津波から避難した。 >

- ・ 周辺の推定標高4m
- ・ 海岸（汀線）からの距離4km
- ・ 周辺地区の想定津波高9.54m
- ・ 微高地の標高10～11m（若林三本塚周辺）

（概況）若林地区周辺の盛土部分では津波の浸水が止まっていたが高架となっている部分から内陸側に浸水していた。（写真-8,9）

若林区から名取市内の東部道路では津波が盛土を乗り越えていた。海岸公園（井土地区）に近い若林 JCT 周辺（海岸側）でアカマツの流木が目立つ。

浸水よりも高い位置にある仙台東 IC から若林 JCT の東部道路は緊急避難地となりえたと推測する。また名取市の越流した区域でも

内陸部へのガレキの流入阻止など一定の効果があったと思われる。



写真-8 東部道路（高架部分）



写真-10 避難経路となった階段



写真-9 東部道路（盛土部分）
（高さ約1.5mのところ浸水跡がある）



写真-11 沿岸から見た日和山公園

石巻市 日和山公園

< 津波指定避難所：山すその学校が高台にある日和山公園に続く階段を使って避難した。 >

- ・ 山すその推定標高10m
- ・ 海岸（汀線）からの距離960m
- ・ 周辺地区の想定津波高5m
- ・ 微高地の標高37m
- ・ 海岸側に堤防有り

（概況）公園は市内を一望できる場所で、神社の正面から沿岸部の市街地へ続く階段がある。（写真-10，11）

公園前面の沿岸部は壊滅状態。公園下の隣縁部の建物では小学校周辺に火災跡があったが斜面の樹林に燃え移った箇所は見られず、園内もほぼ無傷。

岩沼市 岩沼海浜緑地 北ブロック

< 沿岸部の築山のある公園：地震発生時に緊急避難場所となったかは不明。 >

- ・ 周辺の推定標高4m
- ・ 海岸（汀線）からの距離400m
- ・ 周辺地区の想定津波高12m
- ・ 微高地の標高18m
- ・ 海岸側に堤防なし

（概況）砂浜がえぐられて園内の赤井江と海がつながっている。公園部分の海岸堤防は整備されておらず、周辺の堤防と同じ高さの盛土があったことが地元の方の話で分かった。

築山は頂部四阿の床まで津波の浸水跡があった。浸水を免れたのは、四阿下の縁台などごく一部と思われる。築山に設けられた擬木階段は一部崩れ落ちているが、スロープは破損が少なく登ることができた。その他施設の

被害は大きく、野球場のスタジアムはバックスクリーンが折れ曲がり、テニスコートのフェンスが地面に張り付くように倒れ、舗装が捲れあがっていた。

多目的広場はガレキ置き場に利用され始めていた。



写真-12 岩沼海浜緑地 北ブロックの築山



空中写真-2 国土地理院撮影 (CT0-2010-4-C11_0288) (一部加筆)

岩沼市 岩沼海浜緑地 南ブロック

< 浸水をまめがれた公園区域：北ブロック同様に沿岸部の築山がある。 >

- ・ 周辺の推定標高4m
- ・ 海岸（汀線）からの距離750m
- ・ 周辺地区の想定津波高12m
- ・ 微高地の標高15m
- ・ 海岸側に堤防有り

（概況）高さ8m程度の築山。地震発生時に緊急避難場所となったかは不明。敷地は沿岸部より3m程度高くなっている。築山は海岸線と平行に地割れが起き、頂上広場は亀裂ができていた。築山周辺高さ園内G.L. + 1.5～

2.5mのところ浸水跡があった。

園内のバーベキュー用四阿は木材の上部が消失、照明は根元部から地面に張り付くように折れていた。トイレや築山の擬木階段は浸水しているが、目立った損壊はない。

園内には海側の集落のガレキや幹径 20 cm 程度のクロマツが流れ着き、広場の芝生には流木跡と思われる傷が残っていた。

北ブロック同様に広場の一部はガレキ置き場に利用されていた。



写真-13 岩沼海浜緑地 南ブロックの築山

名取市 日和山公園

< 沿岸部の築山のある公園：船の出入り等を見るために造られた人工微高地。 >

- ・ 周辺の推定標高1m
- ・ 海岸（汀線）からの距離650m
- ・ 周辺地区の想定津波高8.3m
- ・ 微高地の標高7m
- ・ 海岸側に堤防有り

（概況）閉上地区の展望台。地震発生時に緊急避難場所となったかは不明。この地区でここ以外に小高いところは無い。(写真-14)鳥居、階段の手摺が根元から無くなっていた。

頂部にあった高さ2m以上の石板が下に並べられていたが、津波に流されたのか地震で倒れたのかは不明。

地震後に閉上小中学校の子どもたちが桜とヒマワリを植栽した。卒塔婆が置かれて、閉上地区の慰霊の場になっている。(写真-15)



写真-14 名取市関上地区 日和山公園と周辺



写真-15 日和山公園の頂上

2) 防潮林

震災後の航空写真をもとに沿岸部の残存緑地を調査した。

仙台市 海岸公園

(井土地区)

- ・ 海岸（汀線）からの距離500m
- ・ 周辺地区の想定津波高9.54m
- ・ 防潮林：幅員650m（一部では250m）
樹種(内陸)アカマツ、(沿岸)クロマツ
平均樹高18m, 平均幹径30cm

(概況) 貞山堀より海岸側では高木は堀沿いに残るのみだが、1.5m程度の幼木は密生した。もともと幼木林だったのかは不明。塩害が見られるものの、流木や折れた跡はない。公園周辺の防潮林は抜根跡が多数有り、堀の堤防のある箇所にはまとまってアカマツが残っていたが、その場に残るアカマツはほとんどが根元から倒れていた。(写真-16)後背地にはアカマツが根つきのまま3km先の仙台若

林JCT周辺まで多数流されていた。(写真-17)

アカマツの被害とは対照的に公園の法面に生育する広葉樹はほとんど被害がなかった。



写真-16 井土地区 公園周辺の防潮林



写真-17 東部道路沿いの水田

(荒浜地区)

- ・ 海岸（汀線）からの距離250m
- ・ 周辺地区の想定津波高9.54m
- ・ 防潮林：幅員650m（公園施設前300m）
樹種(内陸)アカマツ、(沿岸)クロマツ
平均樹高18m, 平均幹径20cm

(概況) 公園区域で堤防切れていたこの地区では、砂浜が削られ海水が入り込んでいる。

堀沿いの樹林で根元から1mくらいの高さで幹折れを多く確認した。(写真-18)砂浜周辺は、根がむき出しで倒木や根元から折れ、地面に張り付いている樹木が多い。井土地区同様に、砂浜には1.5m程度の幼木が密生していた。(写真-19)幼木は葉の黄変は見られたが、流木や折れた跡はみられなかった。



写真-18 荒浜地区 貞山堀海岸側の防潮林



写真-19 荒浜地区 海岸部の幼木林

東松島市 野蒜海水浴場付近

- ・ 海岸（汀線）からの距離40m
- ・ 周辺地区の想定津波高10.35m
- ・ 防潮林：幅員70m

樹種クロマツ

平均樹高15m, 平均幹径25cm

（概況）中低木、ササの茂る複層林。（写真-20）倒木は少ない。幹径15cm程度のクロマツが3mの高さで折れているのを数箇所確認した。中低木も津波でなぎ倒されているが幹折、倒木、流木などの被害は見られない。

一方、後背地はところどころ家屋の形が残る程度で、被害は甚大。残った家屋も屋内はほとんど流出している。（写真-21）



写真-20 防潮林の林内の様子（複層林）



写真-21 防潮林と野蒜海岸周辺地区

東松島市 矢本海浜緑地

- ・ 海岸（汀線）からの距離100m
- ・ 周辺地区の想定津波高5.77m
- ・ 防潮林：幅員400m

樹種（内陸）アカマツ、（沿岸）クロマツ
平均樹高15m, 平均幹径20cm

（概況）海岸堤防沿いにあった樹木はアスファルト道路と共に失われ、一部では大きな陥没箇所があった。内陸部のアカマツの幹折れ、被害が大きい。場所により10～100%の倒木率の違いがあり、被害の差が大きい。短い区間で被害状況が一定でない理由は不明。（写真-22,23）

緑地内の施設は、屋根が傘状のパーゴラは基礎ごと流されていたが、遊具やコンクリート構造物はその場に留まっていた。水路を挟んで後背地にある航空自衛隊松島基地でも護岸が壊れるなどの被害がでていた。



写真-22 アカマツの防潮林（被害の大きい箇所）



写真-23 アカマツの防潮林(被害の少ない箇所)

石巻市 長浜海浜公園周辺

- ・海岸（汀線）からの距離70m
- ・周辺地区の想定津波高5m
- ・防潮林：幅員150m 樹種クロマツ
平均樹高20m, 平均幹径25cm

（概況）樹林内は沿岸道路のガレキや砂が多い。（写真-24）隣接する市立女子商高の敷地との境界にあたる内陸側の林縁には市街地のガレキが散乱していた。（写真-25）

樹木の幹折、倒木、流木跡はほとんど確認できない。隣接する高校のスズカケノキも被害は見られない。後背地は松林と隣接する高校の校舎の地上5mの位置に浸水跡が残っていた。後背地の建物は周辺の住宅を含め、一階部分の被害は大きいが建物の倒壊はあまり見られない。



写真-24 クロマツの防潮林(砂、瓦礫が堆積)



写真-25 内陸側の林縁部(住宅の瓦礫が堆積)

岩沼市 岩沼海浜緑地 北ブロック

- ・海岸（汀線）からの距離400m
- ・周辺地区の想定津波高12m
- ・防潮林：幅員0～500m（一部0～100m）
樹種クロマツ
平均樹高15m, 平均幹径30cm

（概況）海岸の樹木は内陸側に大きく傾いている。内陸側では直径15cm程度の幹枝の被害が多いが根つきの流木はあまり見られない。

公園の後背地は野球スタジアム裏の樹林の高木が残っていた。（p19 空中写真-2）また、幼木のみ残る箇所があったが、もともと幼木林だったのか、高木層があったのかは不明。（写真-26）



写真-26 海浜緑地(相の釜地区)周辺の防潮林

岩沼市 岩沼海浜緑地 南ブロック付近

- ・海岸（汀線）からの距離750m
- ・周辺地区の想定津波高12m
- ・防潮林：幅員750m（海岸側40m）
樹種クロマツ

海岸側) 平均樹高4m, 平均幹径10cm
 内陸側) 平均樹高18m, 平均幹径25cm

(概況) 海岸側の防潮林は壊れた海岸堤防の土壌が積もり、根際が砂で埋もれていた。幹の細い松は根ごと流され、高木に引っかかっていたが幼木の育成林は多少流出したようだが高木に比べて被害が少ない。(写真-27)

海岸側防潮林の後背にある二の倉地区の建物で形を留めていたのは半分以下。海岸沿いの家は基礎部分が残るのみ。

緑地周辺の防潮林は湿地の箇所の樹木が失われ、大きく開けている。林内には二の倉地区のガレキが多数散乱しているが倒木や幹折れ等の大きな被害は見られない。



写真-27 堤防付近の防潮林

5. 今後の調査にあたって

海岸公園にある築山が緊急避難地となった。想定外の避難だったが逃げ遅れた場合の非常用避難地として沿岸部の見晴らし台や築山などが役に立ったことは、今後の沿岸部の公園整備に影響する事例であったのではないかと思う。

防潮林の後背地への減災効果を判断するのは困難である。しかし、防潮林が残存することにより、漂流物の侵入、海域への流出を阻止する一定の効果はあったと推察する。また、堤防の有無は防潮林と砂浜の被害に影響していた。

流木のほとんどがアカマツだったことから樹種によって被害に差があるように見えた。内陸側に植栽されたアカマツは材として出荷

するための営林が行われており、潮風にさらされる砂浜側のクロマツとの樹高、形状、密度の違い等が影響しているのではないかと推察する。樹種の特性と併せて被災前の樹林管理と被災状況を照合することで、より具体的な防潮林の被災原因を検証できるのではないかと考える。

堤防+防潮林がもたらす後背地への津波の低減効果については、今後津波高や建築、土木の被災状況等の調査結果をもとに改めて検証する必要がある。

日が経つに従い、震災関連の公園利用が支援のための利用から仮ゴミ置き場としての利用へ移っている。仮設住宅用地などの利用と併せて、ガレキが今後どのように処理され、一時的な利用が永続的に公園内に残されるのかなどを引き続き調査する。

今回の調査は仙台平野を中心としたが岩手県沿岸についても近日調査を行う予定である。平野部との被害の違い、リアス式海岸でどのような場所が避難地として有効であったかを中心に調査を行う。

謝辞

本調査実施にあたり、先に行われました多くの団体の調査速報および資料を参照させていただきました。また、本稿をとりまとめるにあたり、仙台市建設局公園課並びに百年の杜推進部、現地スタッフである嶋倉氏、近藤氏から情報提供をいただきました。

記して謝意を表します。

引用資料)

- ・周辺の推定標高は、国土地理院二万五千分の1地図から推測。
- ・周辺地区の想定津波高は、土木学会海岸工学委員会現地調査結果、東京大学地震研究所現地調査結果を利用。

名 称	1-01	都立「光が丘公園」	広域避難場所(大規模救出活動拠点)
所 在 地	東京都練馬区光が丘4-1-1		
問 合 先	光が丘公園サービスセンター TEL 03-3977-7638		
公園面積	607,823.73 平方メートル	HP	http://www.tokyo-park.or.jp/announcement/023/detail/9403.html

＜防災施設＞

カマドベンチ	数量	36基
災害時用トイレ		3ヶ所
災害時用トイレ用マンホール		52穴
防災自動販売機		9台
給水活動スペース		1ヶ所
広域避難場所表示灯		
ソーラー照明灯		
災害掲示板		
ヘリコプター離発着可能な広場		

＜かまどの使用状況＞

1. かまどは災害時のみ使用
2. 防災資材などは防災備蓄倉庫で保管
3. 燃料となる薪は備蓄あり
足りない場合は、公園の枯葉、小枝を燃料にする
4. 災害時はサービスセンターと都の防災課の職員が対応
5. 地域住民と炊き出し訓練あり。

＜その他の施設＞

デイキャンプ場	あり
バーベキュー広場	あり
プレイパーク (火気使用可・直火は×)	あり



かまどベンチ=普段はベンチとして使用、災害時には座る部分を外し、かまどとして炊き出しなどに用いる。



公園風景



プレイパーク

名 称	1-02	都立「和田堀公園」	広域避難場所(大規模救出活動拠点)
所 在 地	杉並区成田西1-30-27		
問 合 先	善福寺川緑地サービスセンター TEL 03-3313-4247		
公園面積	27,573.54 平方メートル	HP	

＜防災施設＞

カマドベンチ	数 量
災害時用トイレ	なし
災害時トイレ用マンホール (2ヶ所で合計)	2ヶ所
揚水ポンプ(手こぎポンプ)	50穴
	2ヶ所

＜かまどの使用状況＞

＜その他の施設＞

デイキャンプ場	なし
バーベキュー広場	あり



駐車場と隣接してバーベキュー広場がありとても便利



使用済の炭捨て場



揚水ポンプ (使えました)

名称	1-03	都立「篠崎公園」	広域避難場所（大規模救出活動拠点）
所在地	江戸川区上篠崎1-25-1		
問合せ先	篠崎公園サービスセンター TEL 03-3670-4080		
公園面積	301,905 平方メートル	HP	

＜防災施設＞

カマドベンチ	なし
災害時トイレマンホール	10ヶ所
揚水ポンプ（手こぎ）	1ヶ所

＜かまどの使用状況＞
 地面上での直火は禁止
 簡易コンロを使用して炭火を使用する
 使用済消し炭もすべて持ち帰り

＜その他の施設＞
 バーベキュー広場
 駐車場から広場まで道路を横断しての
 荷物搬入・搬出のため台車が必要
 （センターで台車の貸し出しあり）
 防災倉庫は、広場付近にはありません

災害時対応トイレ・揚水ポンプは近くにあり



バーベキューエリア



かまど形ベンチと思ったが、ただのベンチ



災害対応トイレ



揚水ポンプ（手こぎポンプ）

名 称	1-04	都立 「木場公園」	広域避難場所（大規模救出活動拠点）
所 在 地	東京都江東区平野 4-6		
問 合 先	木場公園サービスセンター TEL 03-5245-1770		
公園面積	238,711.13 平方メートル	HP	

＜防災施設＞ 数 量
 カマドベンチ
 揚水ポンプ(手こぎ) あり 2ヶ所
 災害時トイレ あり 2ヶ所
 多目的ひろばが「ヘリポート」施設になる

＜かまどの使用状況＞
 現在、リニューアル工事のため不明
 案内板からすると、災害用かまどベンチが
 4基新設とのこと

＜その他の施設＞
 バーベキュー広場
 1月より3月まで改修工事のため利用できない



総合案内板



工事中のバーベキューひろばとベンチ



工事中のバーベキューひろばとかまど形ベンチ



工事中のバーベキューひろば

名称	1-05	都立 「水元公園」	広域避難場所（大規模救出救助活動拠点）
所在地	東京都葛飾区水元公園3-2（管理事務所の所在地）		
問合せ先	水元公園サービスセンター TEL 03-3607-8321		
公園面積	933,509.58 平方メートル	HP	

<防災施設>

カマドベンチ	数量 なし
簡易式コンロ（貸出あり）	
災害時トイレ設置	7ヶ所
給水施設1か所設置	1ヶ所
ヘリコプター発着可能の広場を指定してい	
救護・医療施設あり	

<かまどの使用状況>

- 1 かまどは災害時のみ使用
- 2 生活物資の集積・転送拠点となっている
- 3 燃料の薪・炭はバーベキュー施設で常時保管している
- 4 災害時に現地対策本部が公園内に設置される

<その他の施設>

デイキャンプ場	なし
バーベキュー広場	あり



防災施設マップ



バーベキューエリア
椅子&テーブル&簡易コンロ等貸出有り（有料）



石のプレートの上で簡易コンロを使用する



バーベキューエリアの管理(受付)棟



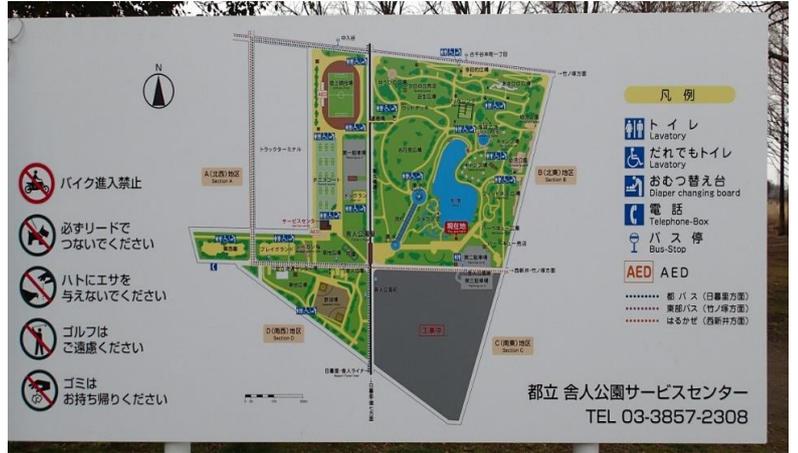
炭捨て場

名 称	1-06	都立 「舎人公園」	広域避難場所（大規模救出活動拠点）
所 在 地	東京都足立区舎人公園1		
問 合 先	舎人公園サービスセンター TEL 03-3857-2308		
公園面積	629,467.11 平方メートル	HP	

<防災施設>

数 量

カマド あり
 キャンプ場に有るが、常時は使えない
 簡易コンロ（貸出あり）
 バーベキュー広場で使える



総合案内版

<かまどの使用状況>

キャンプ場に炊事棟あり、そこに設置されている。青少年育成施設のため青少年の団体のみ利用できる。

<その他の施設>

バーベキュー広場 あり



バーベキューエリア 水場と使用済の消し炭置き場



キャンプ場エリア 調理棟 流し設備とかまど設備
 かまど設備は、ふた+施錠してあり誰でも使う事は出来ない

名 称	2-01	荒川岩淵関緑地公園	
所 在 地	東京都荒川区岩淵町23-45		
問 合 先	北区役所道路公園課 TEL 03-3908-9275		
公園面積	不明	HP	

<防災施設>

数 量

カマド		10
トイレ	あり	2
流し台設備	なし	

<かまどの使用状況>

どの「かまど」も非常に良く使いこまれている様で痛みが激しい。そろそろリニューアルする時期に来ている。



案内板



かまどエリア



かまどの状態

名称	2-02 赤羽自然観察公園		
所在地	東京都北区赤羽西5-2-34		
問合せ先	北区役所 TEL 03-3908-9275		
公園面積	54,020 平方メートル	HP	

<防災施設>

数量

カマド		10台
流し台設備	あり	10個
揚水ポンプ	あり	1ヶ所
カマドベンチ	あり	5台

<かまどの使用状況>

かまどは、炊事棟の中に1列5台で両面から使える様になっている。
 蛇口もかまどと同じ配置になっていて使い勝手が良さそう。
 残念な事に、炊事棟と食事エリアが離れていて焼き物を食べるには不便なところが有りそう。



炊事棟



揚水ポンプ



かまどベンチ



炊事棟内部 (非常に手入れが行き届いている)



食事エリアと炊事棟

名称	2-03 都立「赤塚公園」		
所在地	東京都板橋区高島平3-1		
問合せ先	赤塚公園管理所 TEL 03-3938-5715		
公園面積	255,480.40 平方メートル	HP	

＜防災施設＞

カマド		数量	なし
流し台設備	あり		1ヶ所
揚水ポンプ			なし

＜かまどの使用状況＞



公園案内板



バーベキューエリア



災害時にヘリポートになりそう

名称	2-04	都立「野川公園」広域避難場所
所在地	東京都三鷹市大沢 6-3	
問合せ先	野川公園管理所 TEL 0422-31-6457	
公園面積	399,763.78 平方メートル	HP

＜防災施設＞		数量
カマド (バーベキュー場)		なし
流し台 (バーベキュー場)	あり	1ヶ所
揚水ポンプ		なし
カマド (キャンプ場)	あり	12ヶ所
流し台 (キャンプ場)	あり	12ヶ所

＜かまどの使用状況＞

＜その他の施設＞

災害時用トイレ 1ヶ所
 災害時トイレ用マンホール 6穴
 キャンプ場の利用は「青少年育成」を目的としているため、一般への貸し出しは行っていない



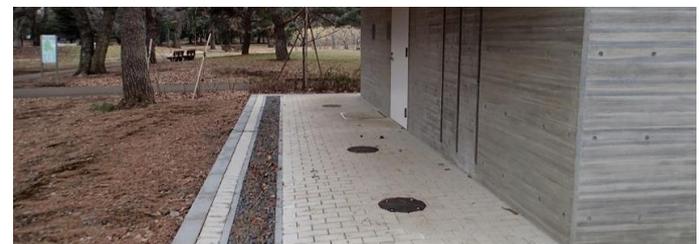
案内板



バーベキューエリア



キャンプ場



災害時トイレ用マンホール

名 称	2-05	富士見台公園（八王子市）	
所 在 地	東京都八王子市柚木905-3		
問 合 先	スマートパーク由木 TEL 042-670-9073		
公園面積	不 明	HP	

＜防災施設＞		数 量
カマド（バーベキュー場）		なし
流し台（バーベキュー場）	あり	なし
揚水ポンプ		なし



＜かまどの使用状況＞

＜その他の施設＞

案内板



バーベキューの出来る広場（下の芝生）



バーベキューの出来る広場

名称	2-08	多摩川緑地福生南公園 (福生市)	
所在地	東京都福生市南田園 1-1-1		
問合せ先	福生市都市建設部地域整備課公園緑地係 TEL 042-551-1511		
公園面積	61,322.28 平方メートル	HP	

<防災施設>

数量

カマド	あり	6
流し台	あり	1
テーブル&ベンチ	あり	3

<かまどの使用状況>

使い込まれているが、まだまだ使える
コンロとテーブルが近いため使い勝手が良さそう
雨天時は、屋根がないので出来ない

<その他の施設>

駐車場から離れているため搬入出が大変



バーベキューエリア

名 称	2-09 多摩川中央公園（福生市）		
所 在 地	東京都福生市北田園 1		
問 合 先	施設課公園グループ TEL 042-551-1985		
公園面積	65,705.98 平方メートル	HP	

<防災施設>

数 量

カマド	あり	7
流し台	あり	1
テーブル&ベンチ	あり	7

<かまどの使用状況>

使い込まれているが、まだまだ使える
コンロとテーブルが近いため使い勝手が良さそう
雨天時は、屋根がないので出来ない

<その他の施設>

となりに公園があり、自主防災倉庫がある
駐車場から離れているため搬入出が大変



バーベキューエリアの森



名 称	2-10	都立「秋留台公園」	
所 在 地	東京都あきる野市二宮673-1		
問 合 先	秋留台公園サービスセンター TEL 042-559-6910		
公園面積	118,447.07 平方メートル	HP	

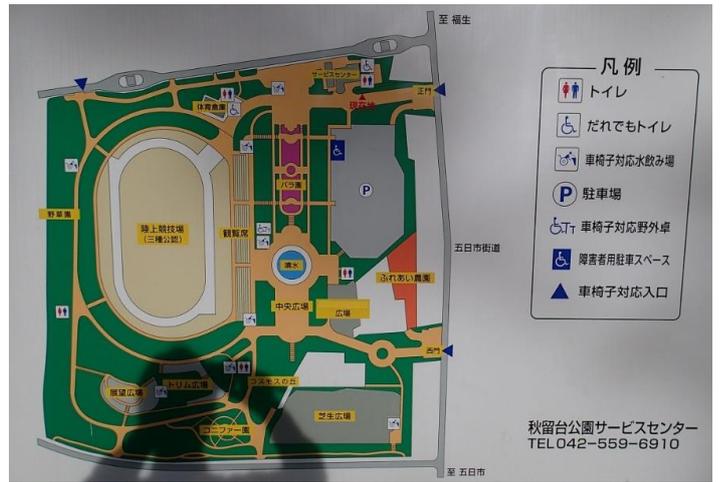
<防災施設>

数 量

カマド なし
 流し台 なし
 テーブル&ベンチ なし

<かまどの使用状況>

<その他の施設>



公園案内板



バーベキューエリア



観覧席



三種公認 陸上競技場

名 称	2-11		花木園（青梅市）
所 在 地	東京都青梅市小曾木4-2615-1		
問 合 先	青梅市まちづくり経済部公園緑地課 TEL 0428-22-1111		
公園面積	40,314 平方メートル	HP	

<防災施設>

数 量

カマド	あり	2
流し台	あり	1
テーブル&ベンチ	あり	5

<かまどの使用状況>

使い勝手が良さそうな「かまど」です
かまどより、テーブルの数が多いいのが良いです
場所がわかりにくいのが難点です

<その他の施設>



案内板



管理事務所棟



バーベキューエリア



かまど&水場



かまど

名 称	2-12	釜の淵公園（青梅市立）	
所 在 地	東京都江東区青梅市大柳町1392		
問 合 先	青梅市まちづくり経済部公園緑地係 TEL 0428-22-1111		
公園面積	不 明	HP	

<防災施設> 数 量
 カマドベンチ なし
 川原内で、石を積上げかまどを作る事から始める。(川原内は直火可)隣接する公園内では、火気厳禁

<かまどの使用状況>

<その他の施設>
 バーベキュー広場 なし
 川原内は、自己責任において行う



公園案内板



公園内（トイレ）



公園内（バーベキューエリア方向）



公園内（バーベキューエリア）

名 称	2-13	平和の森公園 (広域避難場所)
所 在 地	東京都中野区新井3-37-6	
問 合 先	平和の森公園管理事務所 TEL 03-3385-4150	
公園面積	54,700 平方メートル	HP http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/503000/d005298.html

<防災施設>

- カマド なし 火気厳禁
- 防火樹林 公園の外部に幅20m程度で設置
- 災害時用トイレ(貯水槽兼用) 6基
- 防災井戸 1か所
- 防災備蓄倉庫 1か所(管理事務所の2階)
- 放水設備
- 放送設備1組・非常用照明1組

<その他の施設>

- 草地広場 11,600㎡
- 少年スポーツ広場4,200㎡
- トイレ2基 水飲み9基
- デイキャンプ場 なし
- バーベキュー広場 なし



下水処理場と公園との兼用として計画された防災公園です。

防災資材などは、管理事務所の2階に防災備蓄倉庫があり、食品・水・燃料などを保管。夜間は鍵をかけ不在
公園管理事務所は公園管理課であり、防災や災害時の担当は、区役所の防災課が対応する
そのため災害時は、防災課の職員が防災倉庫の鍵を開けたり、防災トイレを組み立てるとのこと



草地広場



公園事務所



貯水槽兼災害時トイレのための、マンホール

「消防水利」という表示はあるが、貯水槽兼災害時トイレの場所とは、分からない。

名称	2-14	桃井原っぱ公園
所在地	杉並区桃井3-8-1	
問合せ先	みどり公園課 TEL 03-3312-2111	
公園面積	40,000 平方メートル	HP http://www2.city.suginami.tokyo.jp/map/detail.asp?home=k

< 防災施設 >	数量
防災倉庫	1棟
防火樹林帯	
非常用防災トイレ	70穴
耐震100トン地下貯水槽	2基
水路（井戸）	1箇所
ヘリコプター緊急離発着場	あり



< かまどの使用状況 >
現在なし

防災の日や杉並フェスタなどイベントの際、持ち込み

< 施設の経緯 >

公共性の高い跡地利用を望む日産自動車㈱に対し、区は「防災公園街区整備事業」を活用して防災公園と市街地を一体的に整備するために、現UR都市機構に事業を要請。地域の方々と検討を重ね、跡地の利用方法や公園の内容を決定しました。現在は、平常時は地域の人々の憩いの場として、災害時は周辺の消防署、警察署、病院等と連携した避難拠点として大きな効果が期待されています。



公園全体



公園西側



管理棟&水のみ場



井戸

名 称	2-15	新宿中央公園
所 在 地	東京都新宿区西新宿2-11-1	
問合先	指定管理者 新宿中央公園 パークアップ共同体 TEL 03-3342-4509 新宿区役所 みどり公園課 TEL 03-5273-3914	
公園面積	88,000.00 平方メートル	HP http://www.city.shinjuku.lg.jp/seikatsu/file15_02_00001.html http://parks.prj.or.jp/shinjuku/

<防災施設>

数 量

<補足>

災害用トイレ

75基

水道局による給水設備がある？ようだが、公園課では把握し
自家用発電設備と連動した照明・放送設備 1基(?) していない。防災資材・備蓄品は、なしかまどベンチなど無
し、裸火など含む火気厳禁。

自家発電設備と連動した照明・放送設備 1基(?) していない。防災資材・備蓄品は、なしかまどベンチなど無し、裸火など含む火気厳禁。

<その他の施設>

ちびっこ広場（ジャブジャブ池）、多目的運動広場、区民の森、富士見台、
ビオトープ、水の広場、芝生広場、スポーツコーナー、管理事務所



通常はスツールになっており蓋を外して



災害用の小型マンホールの上部に仮設のトイレ



名 称	2-16 若林公園 (世田谷区立)	
所 在 地	東京都世田谷区若林4-3-2-2	
問 合 先	世田谷公園管理事務所 TEL 03-3412-7841	
公園面積	14,457 平方メートル	HP

<防災施設>		数 量
カマドベンチ	あり	6
揚水ポンプ	あり	1
防災倉庫		1
ソーラー発電パネル		1
災害時トイレ用トイレ		3

<かまどの使用状況>
 普段はベンチとして利用され、災害時の炊出しだけはベンチ部分を外しかまどとなる

<その他の施設>	
デイキャンプ場	なし
バーベキュー広場	なし



かまど型ベンチ



揚水ポンプ (手こぎポンプ)



防災倉庫



ソーラー発電パネル



かまどベンチ または災害時用トイレ

バーベキューができる公園（23区）

<都立公園>

Copyright © 公益財団法人 東京都公園協会

1. [赤塚公園](#) 板橋区／都営三田線「高島平」駅



2. [大島小松川公園](#) 江東区／都営地下鉄新宿線「東大島」駅



3. [葛西臨海公園](#) 江戸川区／JR 京葉線「葛西臨海公園」駅、東京メトロ東西線「西葛西」駅



4. [木場公園](#)

江東区／東京メトロ東西線「木場」駅、都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅



5. [汐入公園](#) 荒川区／

JR 常磐線「南千住」駅、東京メトロ日比谷線「南千住」駅、つくばエクスプレス「南千住」駅



6. [潮風公園](#) 品川区／

JR 山手線「浜松町」駅、JR 京浜東北線「浜松町」駅ゆりかもめ「台場」駅、りんかい線「東京テレポート」駅



7. [篠崎公園](#) 江戸川区／JR 総武線「小岩」駅、都営地下鉄新宿線「篠崎」駅



8. [舎人公園](#) 足立区／日暮里舎人ライナー「舎人公園」駅、東武スカイツリーライン「西新井」駅



9. [光が丘公園](#) 練馬区／

東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増」駅、都営地下鉄大江戸線「光が丘」駅、東武東上線「成増」駅



10. [水元公園](#) 葛飾区／JR 常磐線「金町」駅、東京メトロ千代田線「金町」駅



11. [夢の島公園](#) 江東区／JR 京葉線「新木場」駅、東京メトロ有楽町線・りんかい線「新木場」駅



12. [和田堀公園](#) 杉並区／

JR 中央線「高円寺」駅、京王井の頭線「西永福」駅、東京メトロ丸の内線「新高円寺」駅



バーベキューができる公園（23区）

<区立公園>

23区区役所HP参照

中央区（水とみどりの課緑化推進係）（3ヶ所）

築地川公園 / 浜町公園 / 豊海運動公園

江東区（1ヶ所）

若洲公園

品川区（2ヶ所）

しながわ区民公園 / 北浜こども冒険広場（火起こし体験）

目黒区（1ヶ所）

駒場野公園（5炉）

大田区（2ヶ所）

平和島公園 / 本門寺公園

世田谷区（3ヶ所）

世田谷公園（プレイパーク、焚き火） / 羽根木公園（プレイパーク、焚き火） / 玉川野毛町公園（子供用デイキャンプ）

杉並区（4ヶ所）

蚕糸の森公園（デイキャンプ） / 井草森公園（デイキャンプ） / 塚山公園（デイキャンプ） / 柏の宮公園（デイキャンプ）

北区（2ヶ所）

荒川岩淵開緑地（かまど10基） / 赤羽自然観察公園（かまど10基）

板橋区（2ヶ所）

平和公園 / 荒川戸田橋緑地

江戸川区（5ヶ所）

富士公園（かまど有り） / 篠崎公園 / 小松川千本桜 / 大島小松川公園 / 新左近川親水公園（デイキャンプ）

防災公園＜都立公園 9か所＞

Copyright © 公益財団法人 東京都公園協会

東京都の総合的な防災計画である「地域防災計画」で、53ヶ所の都立公園が「避難場所」とされており、東京都建設局の所管する公園を「防災公園」と称している。

1. [葛西臨海公園](#) 江戸川区／JR 京葉線「葛西臨海公園」駅、東京メトロ東西線「西葛西」駅



2. [木場公園](#) 江東区／

東京メトロ東西線「木場」駅、都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅



3. [駒沢オリンピック公園](#) 世田谷区／JR 山手線「渋谷」駅、東急田園都市線「駒沢大学」駅



4. [篠崎公園](#) 江戸川区／JR 総武線「小岩」駅、都営地下鉄新宿線「篠崎」駅



5. [城北中央公園](#) 練馬区／東京メトロ有楽町線・副都心線「氷川台」駅、東武東上線「上板橋」駅



6. [善福寺川緑地](#) 杉並区／

東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷」駅、京王井の頭線「西永福」駅、JR 中央線「阿佐ヶ谷」駅



7. [舎人公園](#) 足立区／日暮里舎人ライナー「舎人公園」駅、東武スカイツリーライン「西新井」駅



8. [光が丘公園](#) 練馬区／

東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増」駅、都営地下鉄大江戸線「光が丘」駅、東武東上線「成増」駅



9. [水元公園](#) 葛飾区／JR 常磐線「金町」駅、東京メトロ千代田線「金町」駅



かまどベンチのある公園（23区） 区立公園・児童遊園等 23区区役所HP参照

千代田区（6ヶ所）

芳林公園／練成公園／佐久間公園／和泉公園／秋葉原公園／いずみ児童遊園

港区（3ヶ所）

芝公園（3基）／飯倉公園（2基）／港南緑水公園

新宿区（2ヶ所）

富久さくら公園／荒木公園

文京区（2ヶ所）

台東区（2ヶ所）

防災広場初音の森／防災広場根岸の里

墨田区（8ヶ所）

錦糸公園／白鬚公園（3基）／旧中川水辺公園（16基）／京島南公園／大横川親水公園（2基）

曳舟児童遊園（2基）／長浦児童遊園（2基）／墨田児童遊園（1基）

江東区（1ヶ所）

東陽公園

品川区（3ヶ所）

弁天通り公園／中延三丁目特定児童遊園／豊四防災広場等 16ヶ所の防災広場

大田区（1ヶ所）

東蒲田公園

世田谷区（5ヶ所）

若林公園／野沢二丁目公園（かまどスツール）／豪徳寺一丁目オリーブ公園（かまどスツール）

北沢五丁目わかたけ公園（かまどスツール）／三峰公園（かまどスツール）

豊島区（7ヶ所）

上池袋中央公園／上池袋東公園／上池袋さくら公園／堀之内公園（かまどスツール）

池袋本町電車の見える公園／南長崎スポーツ公園／南長崎はらっぱ公園

荒川区（5ヶ所）

町屋七丁目公園／荒川二丁目公園／花見寺前児童遊園／熊野前南児童遊園／西尾久五丁目児童遊園

葛飾区（3ヶ所）

四つ木つばさ公園／中図師さくら公園／仲町公園

江戸川区（6ヶ所）

芳林公園／練成公園／佐久間公園／和泉公園／秋葉原公園／いずみ児童遊園